

## 謎の古代寺院 北白川廃寺 —最新発掘調査成果から迫る—

京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課  
新田和央

### はじめに

北白川廃寺とは：京都市内最古級の寺院（跡）／創建は遅くとも 7 世紀後半  
飛鳥白鳳時代の出来事（表 2）

京都市内の飛鳥白鳳寺院：北野廃寺、広隆寺、檜原廃寺、法観寺など

北白川廃寺→令和 6 年度に発掘調査を実施。近年の調査で周縁部の状況が少しずつ明らかに

### 1. 北白川廃寺の位置

京都盆地北東部、瓜生山の南麓

左京区北白川大堂町・上別当町・堂ノ前町・東瀬ノ内町・山田町一帯（北白川別当町の交差点付近）

—白川が形成した扇状地上に立地

### 2. 北白川の遺跡と北白川廃寺の発見

北白川は京都考古学はじまりの地？

近代考古学の父：濱田耕作 —京都帝国大学に日本初の考古学講座を開設

大正 12 年（1923）、京大農学部構内で縄文遺跡を発見

北白川縄文遺跡の発見とその調査（調査 10 【1934 年】）：京都帝国大学東方文化学院京都研究所・羽館易の尽力

古代寺院の発見と瓦積基壇の調査（調査 15 【1934 年】）

基壇規模は東西 36 m、南北 23 m に及ぶ。

これは同時期に奈良盆地に建てられた大半の寺院の基壇規模よりも大きく、国内屈指の大きさ

→その規模から金堂基壇であることが確実。

のちに発見された西側の基壇（回廊基壇）と区別するため、東基壇とも呼ばれる。

### 3. 徐々に姿を現す北白川廃寺

・塔基壇の発見（調査 7 【1975 年】）と全容の解明（調査 5 【1995 年】）

→1 辺 13.8 m（法隆寺五重塔基壇〔1 辺 13.6m〕とほぼ同規模）

当初は瓦積基壇だったものを平安時代前期に乱石積に改装

・金堂基壇を取り巻く回廊基壇（西基壇）の発見（調査 14 【1980 年】）

・回廊基壇が金堂の南側にめぐることを確認（調査 17 【2005 年】）

→回廊が金堂を取り囲み、金堂院を形成することが確定。

・塔北側の溝を発見、さらに溝北側で掘立柱建物跡を確認（調査 4 【1990 年】）

●東に金堂とそれを取り巻く回廊。西に塔、塔周囲にも基壇あり??

講堂の有無は不明、外周施設も不明

### 4. 近年の発掘調査成果

令和 2 年度調査【調査 2・3】：塔基壇北側の調査

従来発見されていた東西方向の溝が延長せず、異なる時期の東西溝を複数確認

令和 6 年度調査：塔基壇西側かつ遺跡範囲西端の調査

北白川廃寺西端を限ると考えられる南北溝を確認。3～4 時期にわたって掘り直される

うち、「SD3」からは多量の瓦が出土。土器からは 8 世紀前半に埋没。この時期に大きな改変？

溝の東側（寺院内側）で南北方向の掘立柱建物を確認。

### 5. 出土遺物の特徴

軒瓦：山田寺式軒丸瓦（図 11-6）、単弁六葉蓮華文軒丸瓦（同 3）

平瓦とその特徴（図 11-7～10）

北白川廃寺から出土する平瓦は非常にユニークな文様（製作工具痕）が付く

瓦の生産地：洛北木野墓窯など

より古い軒瓦の出土（図 11-1・2）

令和 2 年度調査・令和 6 年度調査出土軒丸瓦：7 世紀前半にさかのぼる瓦を新たに発見

「北」墨書土器

### 6. 北白川廃寺の造営の背景

小倉町別当町遺跡から出土する特殊な遺物：無文銀銭（市指定文化財）、唐三彩、瓦塔など

ここに勢力を持った氏族が造営に関与したことは間違いない 粟田氏？

ただし一地方寺院としては、その金堂基壇規模はあまりにも大きい

7 世紀前半の建物が存在？

→大津市穴太廃寺の建替え事例：7 世紀前半の創建寺院で、大津宮遷都（667 年）に伴い伽藍を再整備

無文銀銭：主に近江朝期に用いられる。大津市崇福寺塔跡から 12 枚の無文銀銭が出土。

西限溝の複数回の掘り直し：平安時代まで管理が続く。

延暦 10 年（791）山背国内寺院の塔を修復（『続日本紀』）

●北白川廃寺の造営は激動の白鳳時代の政治情勢を反映する可能性がある。また、平安時代前期の朝廷との関係も重要な視点となる。

ただし、いまだに不明な伽藍配置の全容や寺名の解明など、今後の課題も多い

〔引用・参考文献〕

網伸也「北白川廃寺の伽藍復元 - 最近の発掘調査成果による -」『平安京歴史研究』杉山信三先生米寿記念論集刊行会、1993 年

網伸也「北白川廃寺の造営過程—北山背古代寺院の考古学的考察—」『古代』第 97 号、早稲田大学考古学会、1994 年

梅原末治「京都北白川小倉町石器時代遺跡調査報告」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第十六冊、京都府、1935 年

梅原末治「北白川廃寺址」『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第十九冊、京都府、1938 年

鈴木久史『京瓦—生産者の足跡—』京都市文化財ブックス第 33 集、2019 年

長戸満男「無文銀銭試論」『研究紀要』第 10 号、財団法人京都市埋蔵文化財研究所、2007 年

堀大輔『飛鳥・白鳳の薨～京都市の古代寺院～』京都市文化財ブックス第 24 集、2010 年



図1 北白川廃寺の位置とこれまでの調査地点 (1:3,000)

表2 飛鳥白鳳時代の主な出来事

天皇	和暦	西暦	出来事
元明天皇	和銅	710	平城京遷都
文武天皇	大宝	701	大宝律令制定
持統天皇		697	文武天皇即位
持統天皇		694	藤原京遷都
持統天皇		690	持統天皇即位
天武天皇	朱鳥	686	天武天皇没、皇后が称制
天武天皇		673	天武天皇、飛鳥で即位
(弘文天皇)		672	飛鳥に遷都(飛鳥浄御原宮)
天智天皇		671	壬申の乱・大海人皇子、近江朝廷軍に勝利
天智天皇		669	天智天皇没
天智天皇		668	中臣(藤原)鎌足没
天智天皇		667	天智天皇即位
天智天皇		663	日本・百濟遺民軍が唐・新羅連合軍に敗れる
天智天皇		661	中大兄皇子が称制を開始
孝徳天皇	白雉	653	中大兄皇子ら飛鳥に遷る 遣唐使を派遣
孝徳天皇	大化	645	乙巳の変・中大兄皇子ら、蘇我入鹿を暗殺。 蘇我氏を滅ぼし、大化の改新を開始。 難波長柄豊碇宮遷都
孝徳天皇		643	蘇我入鹿、山背大兄皇子を
皇極天皇		642	皇極天皇即位
舒明天皇		629	舒明天皇即位
推古天皇		622	聖徳太子(厩戸皇子)没
推古天皇		607	小野妹子らを隋に派遣(遣隋使)
欽明天皇		538	百濟から仏教が伝わる

表1 北白川廃寺これまでの調査一覧 ※番号は図1と対応

番号	所在地 (「北白川」を省略)	期間	面積 (㎡)	調査内容	文献(書名・発行機関・発行年)
1	東瀬ノ内町43	1981.8.5~ 1981.8.23	200	縄文:包含層/奈良:柱穴・溝・土坑/平安:溝/室町:溝・柱穴	『北白川廃寺跡発掘調査概要』昭和56年度文観局・埋文研 1982
2	東瀬ノ内町25-2	2020.10.7~ 2020.11.5	85	奈良:溝・土坑	『京都市内遺跡発掘調査報告』令和2年度文市局 2021
3	東瀬ノ内町25-1	2020.4.6~ 2020.4.22	78	飛鳥:溝	『京都市内遺跡発掘調査報告』令和2年度文市局 2021
4	山田町1ほか	1990.12.3~ 1991.4.9	730	縄文早期:竪穴・集石・土坑/飛鳥:掘立柱建物/奈良~平安:東西掘立柱塼・溝・土坑・掘立柱建物	『平成2年度 京都市埋蔵文化財調査概要』埋文研 1994
5	東瀬ノ内町50-1	1995.5.10~ 1995.9.20	413	縄文:包含層/飛鳥:溝/白鳳~平安:土坑・塔基壇(瓦積から石積へ改修)	『京都市内遺跡発掘調査概要』平成7年度文市局 1996
6	東瀬ノ内町4	1974.10.1~ 1974.10.20	53	塔南西部、基壇状堆積を調査区壁面で確認。	『北白川廃寺塔跡発掘調査報告』調査団・文観局 1976
7	東瀬ノ内町4	1975.6.28~ 1975.7.16	150	塔基壇(1辺約14m)	『北白川廃寺塔跡発掘調査報告』調査団・文観局 1976
8	東瀬ノ内町4	1975.3.25~ 1975.5.11	90	塔基壇の南東隅	『北白川廃寺塔跡発掘調査報告』調査団・文観局 1976
9	東瀬ノ内町4	1991.7.1~ 1991.8.5	175	奈良~平安:瓦溜・溝・土坑・柱穴	『平成3年度 京都市埋蔵文化財調査概要』埋文研 1997
10	東瀬ノ内町地内	1934.10.29~ 1934.10.31		縄文中期末の炉跡を伴う建物	『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第十六冊 京都府 1935
11	堂ノ前町36	2008.2.1~ 2008.3.7	83	中世:谷状遺構	『京都市内遺跡試掘調査概要』平成20年度文市局 2008
12	堂ノ前町25-2	2024.1.9・15	21	奈良~平安のピット・土坑	『京都市内遺跡試掘調査報告』令和6年度文市局 2025
13	大堂町56	1990.7.16~ 1990.8.17	106	縄文:包含層/白鳳:小鍛冶遺構/白鳳~平安:基壇状遺構・溝	『北野廃寺・北白川廃寺発掘調査概要』平成2年度 文観局 1991
14	大堂町55、55-1	1980.6.3~ 1980.7.6	200	奈良前期(白鳳):基壇(金堂・西面回廊)・溝・掘立柱建物	『北白川廃寺跡発掘調査概要』昭和55年度センター・埋文研 1981
15	大堂町地内	1934.11		金堂基壇(東西119尺(約36m)、南北75尺5寸(約23m)の瓦積基壇)	『京都府史蹟名勝天然記念物調査報告』第十九冊 京都府 1939
16	大堂町22	2024.7.9~23		金堂の基壇盛土及び掘込地業	『京都市内遺跡詳細分布調査報告』令和6年度 文市局 2025
17	大堂町55-1・2	2005.11.9~ 2005.12.8	108	飛鳥・奈良:西面・南面回廊跡・内溝・東西溝・瓦溜/平安:落込・溝	『京都市内遺跡発掘調査報告』平成17年度文市局 2006
18	大堂町61-1	1987.11.18~ 1987.11.24	48	弥生:土坑/平安:溝・柵	『京都市内遺跡試掘立会調査概要』昭和62年度 1988
19	大堂町62	1999.10.14	43	白鳳:溝/江戸:溝	『京都市内遺跡試掘調査概要』平成11年度文市局 2000
20	上別当町18・大堂町47-3	1986.6.4~ 1986.6.5	50	白鳳:溝/平安:溝	『京都市内遺跡試掘立会調査概要』昭和61年度 文観局・埋文研 1987
21	上別当町26-1	2006.6.19~ 2006.7.6	73	飛鳥:湿地状堆積(飛鳥に整地、底未確認)/近代?:ピット	『京都市内遺跡発掘調査報告』平成18年度文市局 2007
22	上別当町29、25	1996.8.2	21	焼土を含む土坑	『京都市内遺跡試掘調査概要』平成8年度文観局 1997
23	上別当町10 北白川小学校	1982.3.1~ 1982.4.17	150	縄文:包含層・河川/飛鳥:竪穴建物・柱穴・掘立柱建物/江戸:溝・柱穴	『昭和56年度 京都市埋蔵文化財調査概要(発掘調査編)』埋文研 1983
24	上別当町70 北白川小学校	1984.10.8~ 1984.10.20	100	飛鳥:竪穴建物・落込・溝	『昭和59年度 京都市埋蔵文化財調査概要』埋文研 1987
25	上別当町70 北白川小学校	1994.9.22~ 1994.12.28	700	飛鳥:竪穴建物・掘立柱建物・柱列・土坑・柱穴・ピット/平安中期:溝/中~近世:溝・土坑など	『平成6年度 京都市埋蔵文化財調査概要』埋文研 1996
26	上別当町70 北白川小学校	1994.11.21~ 1994.12.16	260	古墳:溝・包含層/飛鳥・奈良:土坑・柱穴/平安中期~鎌倉:溝/室町後半:濠/江戸:暗渠	『平成6年度 京都市埋蔵文化財調査概要』埋文研 1996

発行機関略称: 埋文研 → 財団法人京都市埋蔵文化財研究所、センター → 京都市埋蔵文化財調査センター、文観局 → 京都市文化観光局、文市局 → 京都市文化市民局、調査団 → 北白川廃寺発掘調査団

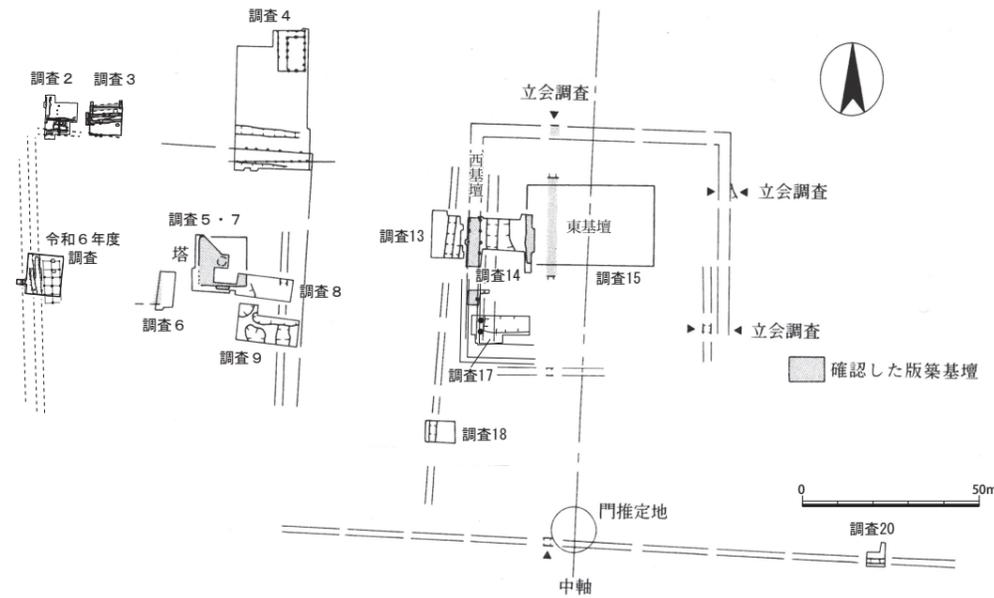


図2 北白川廃寺中心部の遺構 (1:2,000 / 網 1993 掲載図を加筆修正)

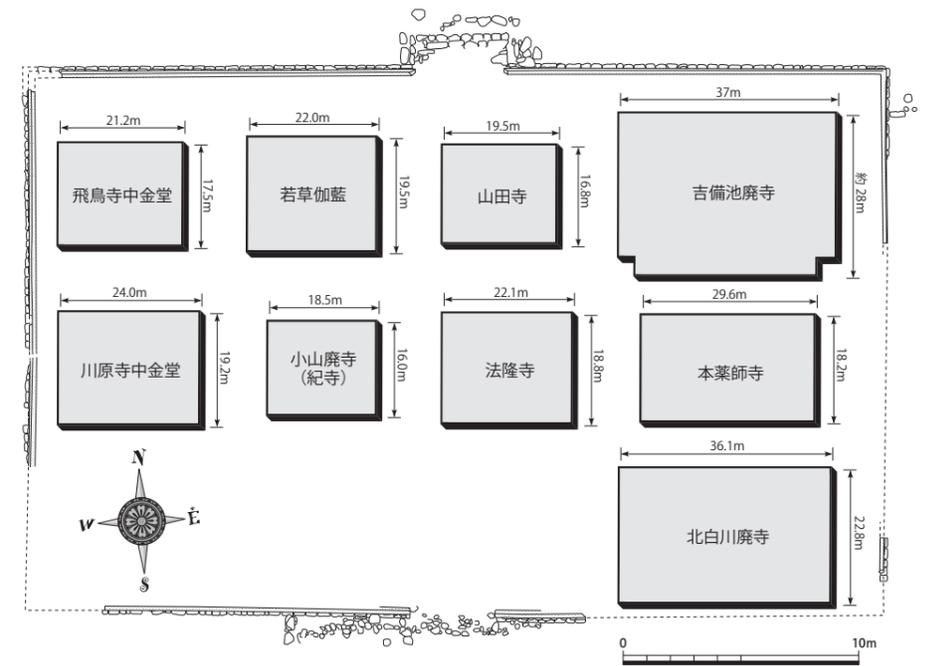


図7 北白川廃寺金堂基壇と主な飛鳥白鳳寺院基壇規模 (堀 2010 掲載図を一部改変)



図3 調査15【昭和9年(1934)】発掘調査の様子 北西から



図4 京大に移築された瓦積基壇(金堂基壇)



図5 調査5【平成7年(1995)】発掘調査 : 塔跡基壇 北西から



図6 調査14【昭和55年(1980)】発掘調査 : 奥が回廊基壇、手前が金堂基壇 東から

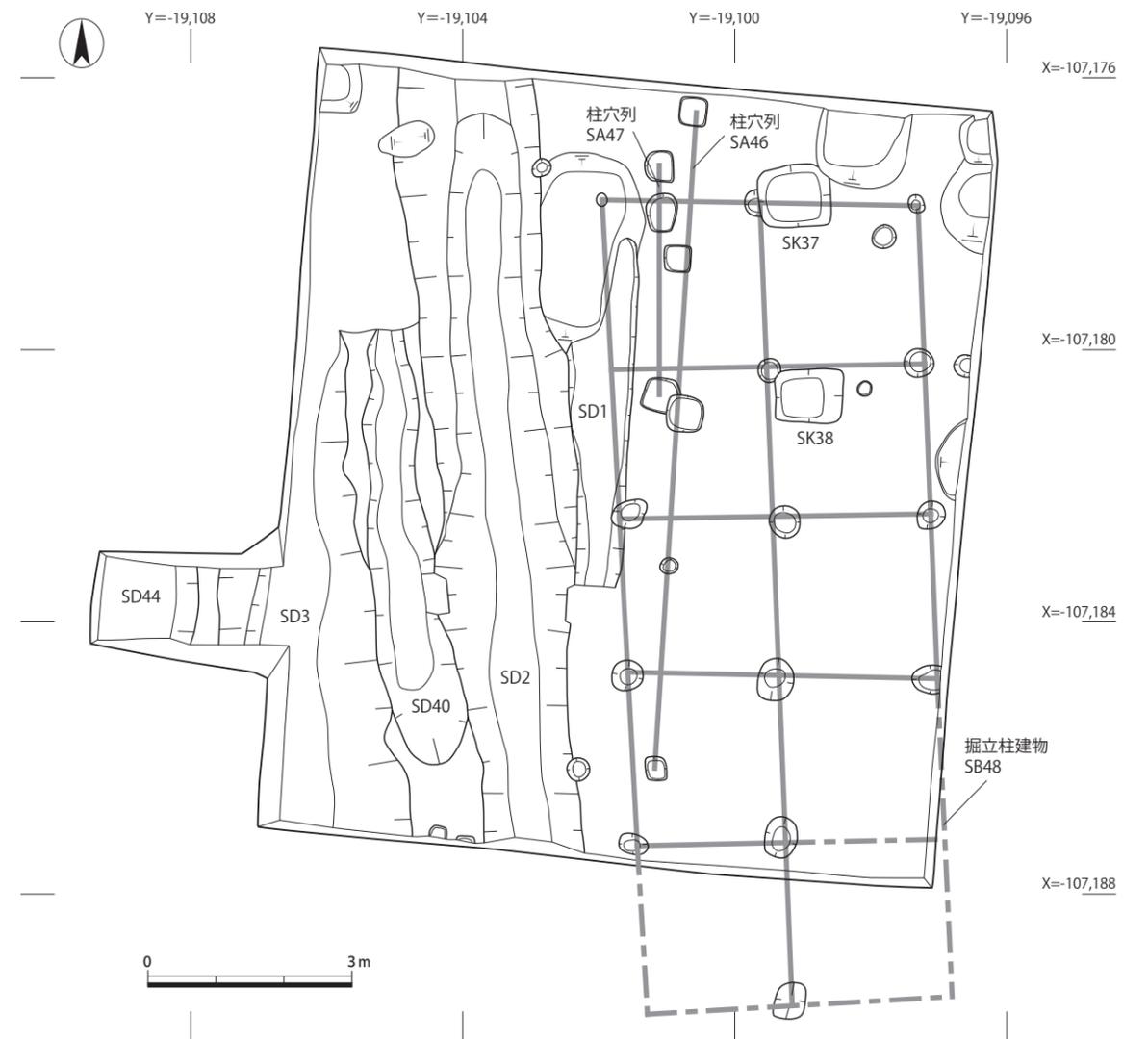


図8 令和6年調査平面図



図9 令和6年度調査SD3（南から）とSD3 遺物出土状況（南東から）



図10 令和6年度調査全景（南から）

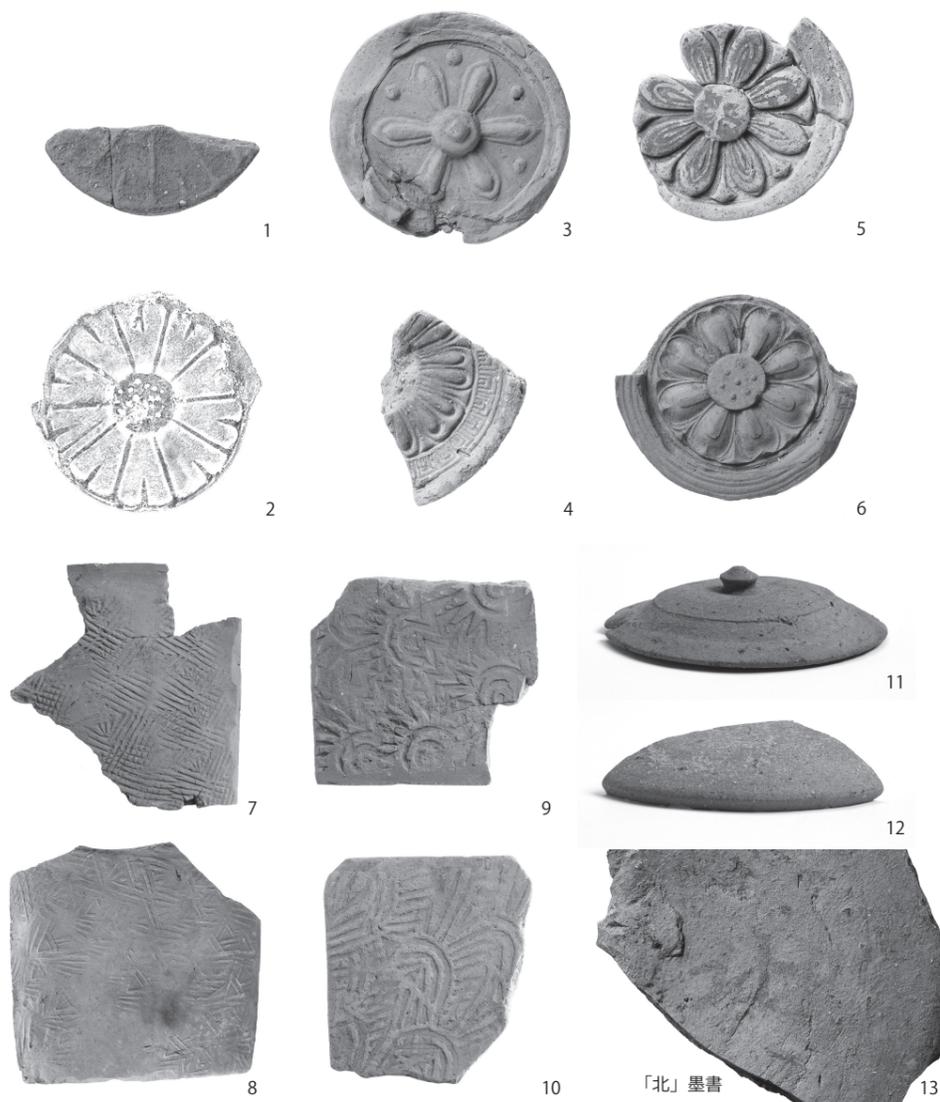


図11 令和2・6年度出土遺物 写真及び拓本

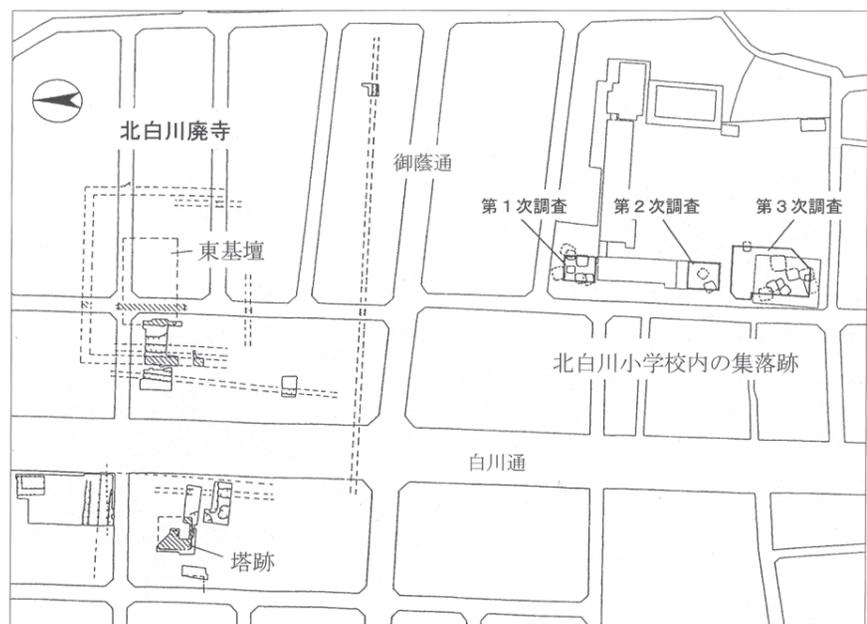


図12 小倉町別当町遺跡調査位置図（1：3,000）（長戸 2007 掲載図を一部改変）



図13 調査25【平成6年（1994）】発掘調査全景（北から）：飛鳥時代建物群



図14 調査25【平成6年（1994）】発掘調査出土遺物 無文銀銭（京都市指定文化財）・唐三彩



図15 北白川廃寺と大津宮関連遺跡の位置関係

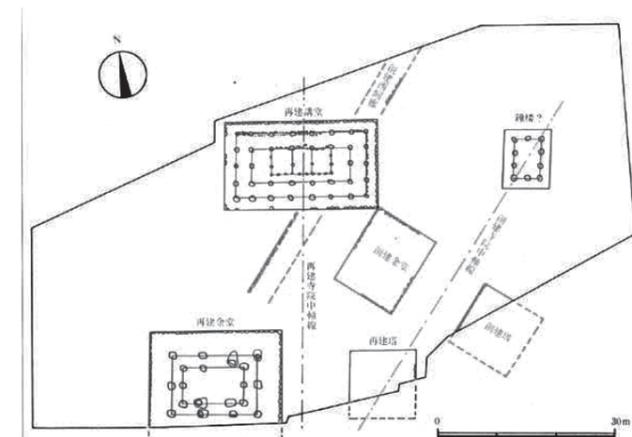


図16 穴太廃寺遺構図及び再建金堂写真（北東から）（滋賀県教育委員会文化財保護課作成 『学習シートNo.16「穴太廃寺跡」』より引用）